

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 アート・メディア・オフィス
公演団体名	邦楽グループ「玉手箱」

内容
<p>※本公演では玉手箱のキャストと一緒に、児童・生徒と「さくら」の合同演奏をします。</p> <p>※児童・生徒体験用の楽器(箏 20 面・三絃 10 丁・尺八 20 管)と付属品(爪・撥・譜面台)を当方が学校に運び入れます。学校側で楽器の用意は必要ありません。</p> <p>→コロナ対応として、参加児童・生徒用に消毒液スプレーや除菌シート等を当方で持参致します。</p> <p>※それぞれの楽器がどのような仕組みになっているのか、琴柱はどのように立てるのか、箏や三絃はどのように調絃をするのか、実際に楽器に触れて体験します。</p> <p>※箏を弾きます。全員琴爪を使用します。</p> <p>→コロナ対応として、講師はマスク・フェイスシールド着用しアクリル板越しで解説します。学校の放送設備はお借りせず、当方で音響機材を持ち込み講師に個別マイクを装着し、マスク越しでも声が届くように工夫をして授業を行います。</p> <p>※三絃を弾きます。全員撥を持って正しい姿勢で音を出します。</p> <p>※尺八を吹きます。全員が鳴らせるよう、音の出る場所を探します。</p> <p>→コロナ対応として、実際に吹くことはできませんが、楽器がどのような形なのかを近くで見て頂き、成り立ちや吹き方の解説を致します。</p> <p>※楽譜の読み方を学習して、合同演奏曲「さくら」の練習をします</p> <p>※本公演での「さくら」の参加希望者を 10 人決定します(児童数の多い学校で、希望者が多い場合は、「さくら」演奏 2 回実施可)</p>

タイムスケジュール (標準)
<p>※ワークショップの約 1 時間半前に学校入り楽器搬入、セッティング、担当先生と打合せ</p> <p>※参加児童・生徒とのワークショップ授業</p> <p>※ワークショップ後、本公演の打合せ、後片付けで約 1 時間後に学校退出</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
※東京芸術大学邦楽科卒の指導者 5 名と、スタッフ(楽器運搬・音響・感染防止対策)・ステージマネージャーの計 9 名編成

学校における事前指導
<p>※事前指導は必要ありません。</p> <p>※「さくら」の楽譜と「邦楽入門」の資料を事前に担当先生宛に送付致しますので、当日の参加児童・生徒分のコピーをして、ワークショップ直前に配布をお願い致します。</p> <p>※授業前には手洗い・うがいのご指導をお願い致します。</p>

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 アート・メディア・オフィス
公演団体名	邦楽グループ「玉手箱」

演目
邦楽入門コンサート「日本の音をもとめて」～古典から現代への伝統～ ① 六段調 ② 鹿の遠音 ③ 琵琶 ④ 春の海 ⑤ 合同演奏さくら～みんなで合奏してみよう ⑥ 雪ものがたり～朗読入り～ ※又は「海鳴り」 ⑦バロック風「日本の四季より」 ※又は「ワールド・トリップ！」 公演時間(90分) →コロナ対応として、短縮バージョンの公演も可能

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
※東京芸術大学邦楽科卒の箏・十七絃・三絃・琵琶・尺八の奏者5名と、 スタッフ(楽器運搬・音響・感染予防対策)・ステージマネージャーの計9名編成

タイムスケジュール(標準)
※本公演開演の約2時間前に学校入り ※楽器機材搬入、セッティング、リハーサル(1時間) ※担当先生と進行打合せ(10分) ※衣装着替え(30分) ※合同演奏代表児童・生徒の練習(15分～20分) ※公演(90分) ※公演後約1～2時間以内で後片付け、学校退出

実施校への協力依頼人員
※公演開始前に合同演奏代表の児童・生徒の練習を行いますので集合させて下さい。 →コロナ対応として、合同演奏の集合前に手洗い・消毒のご指導をお願い致します。

演目解説

- ① 六段調～箏曲の祖、八橋検校の作曲で日本最古の楽曲とされる学校教材曲
- ② 鹿の遠音～琴古流尺八本曲、不思議と心穏やかになる学校教材曲
- ③ 琵琶～琵琶古曲の「祇園精舎」を迫力の歌語りで演奏
- ④ 春の海～近代箏曲家で、十七絃考案者である宮城道雄の有名な曲
- ⑤ さくら合奏発表～限られた練習の中、一生懸命の発表に拍手喝采！
- ⑥ 雪ものがたり～厳冬の東北地方の悲しい物語。和楽器の響きが感動的な作品
※又は「海鳴り」は石井由希子作曲で、三絃と十七絃の二重奏曲
- ⑦ バロック風「日本の四季より」～季節の曲を選択して演奏
※又は「ワールド・トリップ！」は世界各地の有名な民謡等を演奏

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

※司会進行が演奏者とともに1曲ごとにお話しをし、日本に古くから伝承されてきた芸術を、身近に親しみやすく感じてもらえるよう解説します。

→コロナ対応として、児童・生徒さんはディスタンスを確保して着席して頂きます。

隅や後ろにも見やすく聞こえやすいように、音響機材や映写機等を当方で持ち込み工夫をして公演致します。

※ワークショップに参加した児童・生徒と共に「さくら」の合奏を全校一体となって演奏できるよう、楽器のローテーション等、スムーズに指導していきます。

児童生徒とのふれあい

※楽器解説、質問コーナーなど、児童・生徒への問いかけもします

※校歌演奏等、リクエストにもお応え致します